

## 4 輸送障害に関する事項

### 4.1 輸送障害の発生状況

#### (1) 輸送障害件数の推移等

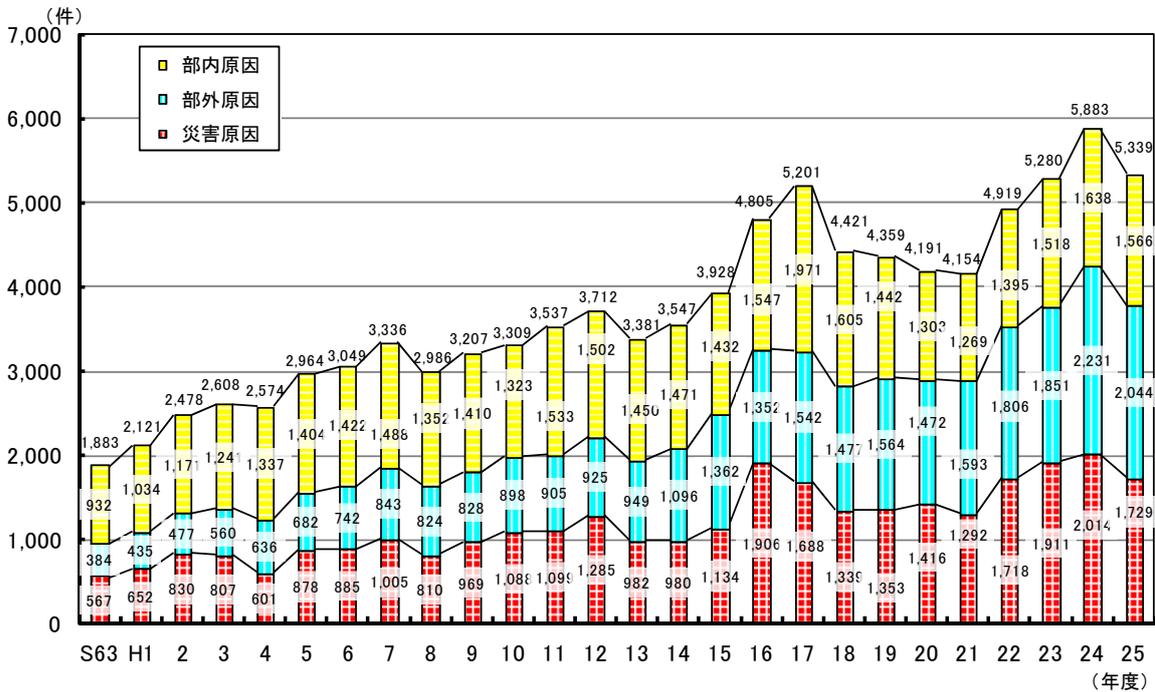
- 平成25年度に発生した輸送障害(列車の運休、旅客列車の30分以上の遅延等)<sup>15</sup>は、5,339件で対前年度544件(9.2%)減でした。
- 鉄道係員、車両又は鉄道施設に起因する輸送障害(部内原因)は、1,566件(29.3%)で対前年度72件(4.4%)減でした。このうち、鉄道係員に起因するものが295件で同32件(12.2%)増、車両に起因するものが841件で同76件(8.3%)減、施設に起因するものが430件で同28件(6.1%)減でした。
- 線路内立入り等による輸送障害(部外原因)は、2,044件(38.3%)で対前年度187件(8.4%)減でした。このうち、自殺によるものは、605件で同26件(4.1%)減、動物によるものは465件で同49件(9.5%)減でした。
- 風水害、雪害、地震等の自然災害による輸送障害(自然災害)は、1,729件(32.4%)で対前年度286件(14.2%)減でした。なかでも、風水害によるものが858件で同230件(21.1%)減、雪害によるものが336件で同32件(10.5%)増、地震によるものが56件で同6件(9.7%)減でした。
- なお、運転事故に伴う列車の運休、旅客列車の30分以上の遅延等があっても、運転事故との重複計上を避けるため、輸送障害として計上していません。

---

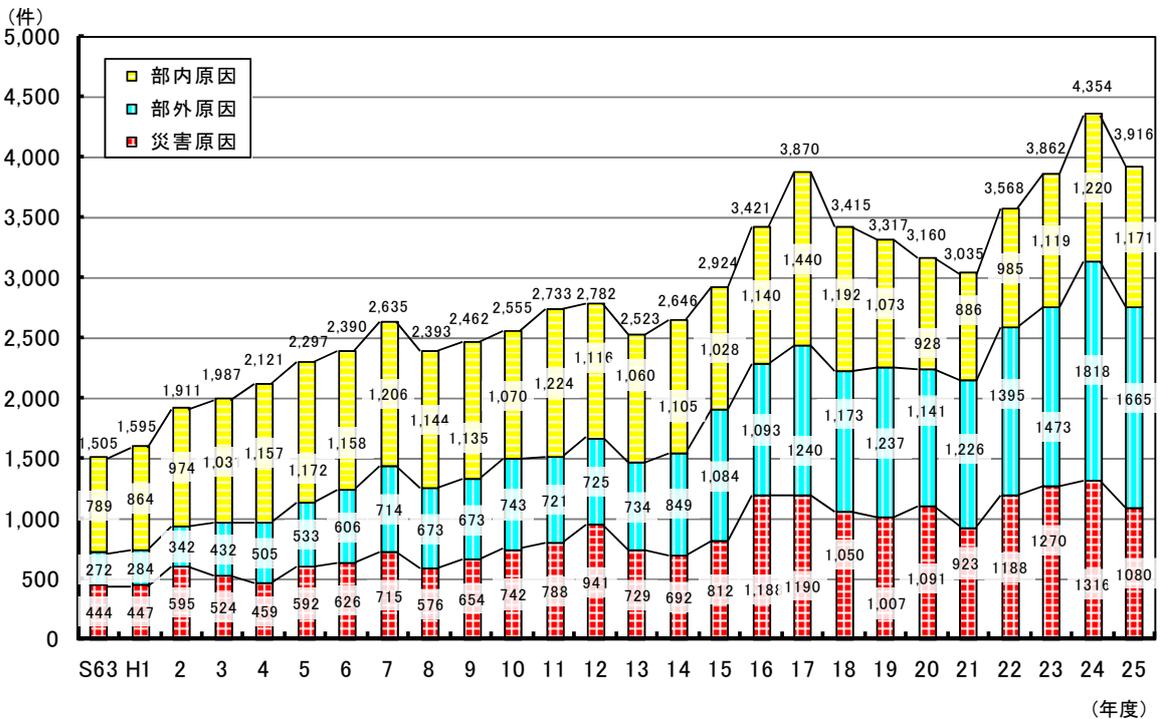
<sup>15</sup> 鉄道事業法第19条に基づき鉄軌道事業者が国へ届け出ます。

図18: 輸送障害件数の推移

① JR(在来線+新幹線)と民鉄(鉄道+軌道)の合計



② JR(在来線)

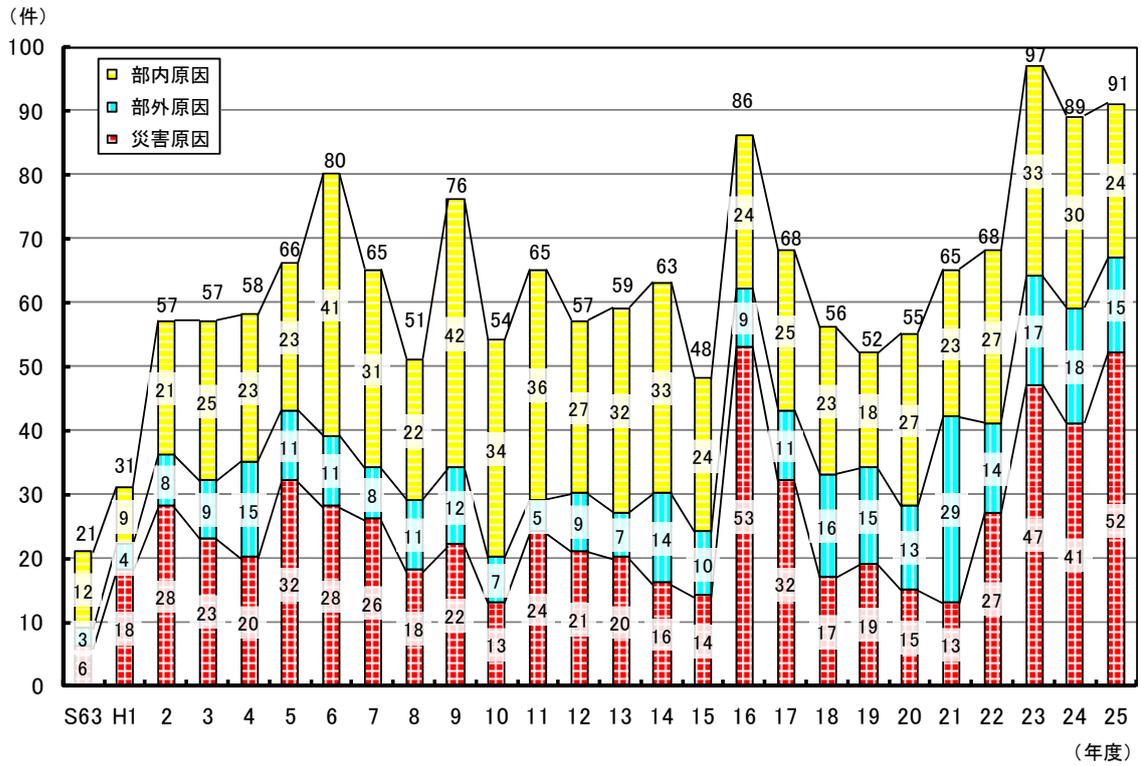


部内原因: 鉄道係員、車両又は鉄道施設に起因するもの

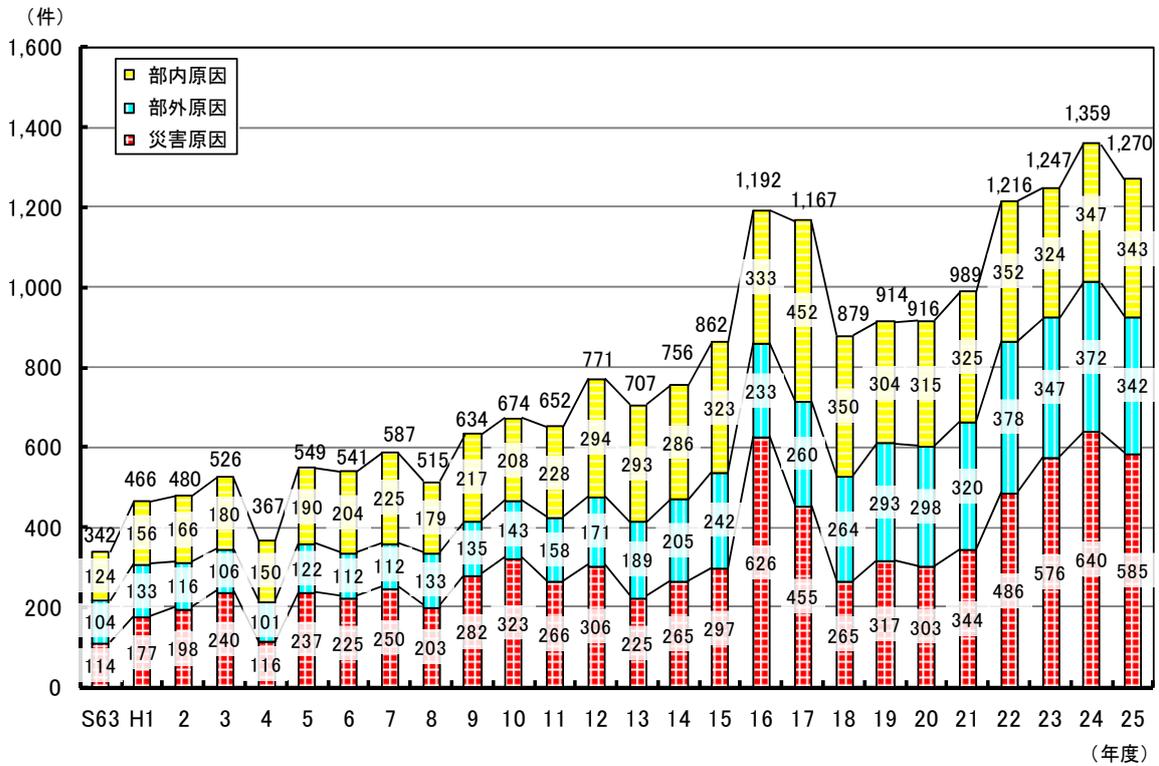
部外原因: 線路内立入り、動物との衝突等に起因するもの(部内原因及び自然災害以外のもの)

自然災害: 風水害、雪害、地震等の自然災害に起因するもの

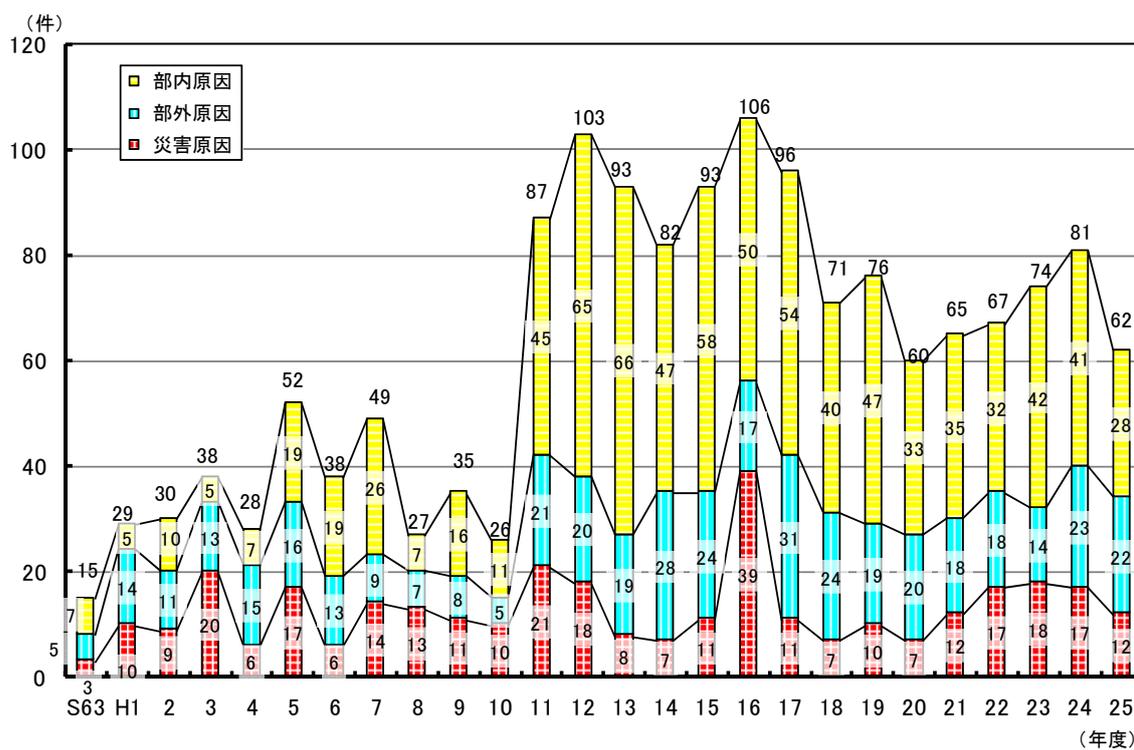
③ JR(新幹線)



④ 民鉄(鉄道)



⑤ 民鉄(軌道)



## 4.2 事業者区分別の輸送障害件数

○平成25年度における事業者区分別の輸送障害件数は、表5のとおりです。

表5:事業者区分別の輸送障害件数(平成25年度)

(件)

原因 事業者区分	部内原因				部外原因	災害原因	合計
	鉄道係員	車両	鉄道施設	小計			
JR(在来線)	261	630	280	1,171	1,665	1,080	3,916
JR(新幹線)	4	12	8	24	15	52	91
民鉄等	27	182	136	345	342	586	1,273
大手民鉄	9	23	25	57	240	101	398
公営地下鉄等	2	9	13	24	30	12	66
新交通・モノレール	1	11	4	16	5	36	57
中小民鉄	15	139	94	248	67	437	752
路面電車	3	17	6	26	22	11	59
合計	295	841	430	1,566	2,044	1,729	5,339

※1 「大手民鉄」は、東京地下鉄(株)を除く15社です。

※2 「公営地下鉄等」は、東京地下鉄(株)を含みます。

※3 「中小民鉄」は、準大手鉄道事業者を含みます。